

大阪城

2025
10/2
(木)
14552
号

全港
西成
成合会

2K47
6647-
4947

10月に入ってようやく涼くなり、秋らしくなってきた。今年の秋は短いのではないだろうか。秋だーとゆくり楽しんだり、味わう間もなく冬に突入する危険がありそうです。

時の流れは、今年も残すところ、3ヶ月ほどになり、これからあわただしさを日々増していくと思います。政治の分野でも、10/4(土)には自民党の総裁が決まると思います。

小泉・高市・林・小林・茂木の人々が争っているが、新しい自民党のトップ、総裁が決まる。

よく「総理・総裁」という方を言ってきて、

与党多数派の自民党の総裁と日本国のトップ首相・総理は同じ人であることがいつも多いのだが、

このたびは、立候補している5人のうちのたれかが、自民党総裁であり、首相・総理は石破氏が次の臨時国会が開かれ、国会での選挙までには別々になる。もちろん、自民党の総裁が臨時国会での選挙で首相・総理になると仮定してのことですが、

今までに、あまりなかった小さな出来事なボツボツ発生してきて、天下大乱なども生れてくるのだろう。

今月10月に予定される食料品値上げは、²⁴30%目に達すると報道されている。

昨年10月には、²⁴29%目だったので、昨年より多い。

この10ヶ月ほどは、毎月連続で、昨年の月より、値上げの品物が多いという。飲料や調味料の昇が目立ち、ペットボトルなどの中には²⁰⁰20円を越えるものも出てくるという。2025年度、通いというところ、8品目が値上げされてきているという。

一方、大阪の最低賃金(時給)は、10月16日から63円引き上げられて、¹⁷⁷177円(時給)に改定されるが、食料品はじめ、物価の値上り、インフレの嵐の中では、実質賃金の引き上げにはなりにくく、経済状況にならざるを得ています。

階級社会の固定化、格差、差別的拡大にならざるを得ない。若い人たちにしても、未来のある、将来が見え通せる社会への変革は、なかなかできていない現実が続いています。アメリカ、EU、ヨーロッパはじめ、世界の交代の波は日本にもおしよせてきているのです。動きに敏感な若者たちから、いろんな反応が、日本でも生れくる時代になつてきます。